

# 平成29年度事業報告

社会福祉法人 友朋会

# 法人本部事業報告

法人本部では、適正な法人の運営に加え、地域・社会に対して公益性を発揮できるよう努めました。

## 平成29年度法人経営理念・運営方針

経営理念 健やかでその人らしい生活の創造

運営方針 ①コンプライアンス（法律遵守）の徹底

②人権の尊重

③家族・社会との連携

④地域移行の推進

## 1、法人運営について

### ①理事会・評議員会の適正な運営

法人の適正な運営に係り、下記の通り実施しております。

#### 理事会

開催日	開催場所	議案
平成29年 6月 1日	メルパルク熊本	9議案
平成29年 6月22日	熊本ホテルキャッスル	2議案
平成29年11月28日	メルパルク熊本	5議案
平成30年 3月20日	メルパルク熊本	8議案

#### 評議員会

開催日	開催場所	議案
平成29年 6月22日	熊本ホテルキャッスル	8議案

#### 役員等研修

例年の法人運営研修に加え、社会福祉法人制度改革についての研修に参加しています。

研修名	開催日	実施主体	参加者
経営研修会	5月26日	熊本県経営協	理事1名
法人制度改革対応セミナー	7月21日	熊本県経営協	理事2名
全国社会福祉法人経営者大会	9月14、15日	全国経営協	理事2名
法人経営者セミナー	3月13日	熊本県経営協	理事2名

## ②事業継続計画（BCP）の策定

全国社会福祉法人経営青年会によるマニュアルをもとに、事業継続計画（BCP）を作成しています。

## ③ホームページ刷新

4月よりホームページの刷新に取り掛かり、制作業者との打合せを重ねて施設のイメージカラーであるオレンジを基調に8月にリニューアルしました。ホームページを見た、ご家族や相談支援事業所からのサービス利用に関する問い合わせや佐賀県武雄市社会福祉協議会からの施設視察の受け入れを行いました。今後も情報発信のツールとして利用していきます。

## 2、法人実施事業について

### ①サニーサイド日中活動事業所等の新設

前年度から着工していた日中作業所等の新設は10月に竣工し、利用者の絵画作品を中心に展示するギャラリーとしています。今後は、生活介護の利用者や支援学校を利用されているご家族等からの「はたらける生活介護」のニーズ合わせて、作業訓練を中心とした利用を実施予定としています。

### ②地域交流・地域貢献の推進

#### ・地域交流事業

主な地域交流事業として12事業を実施しています。

行事名	日時	参加者数	その他
地域交流会	4月 3日	47名	老人会・グランドゴルフ愛好会：21名
泗水西小学校運動会	5月28日	5名	利用者4名参加
レクリエーション大会	6月10日	183名	老人会63名・来賓10名
泗水西小学校交流会（1）	11月27日	36名	小学生16名・先生2名参加
泗水西小学校交流会（2）	2月 9日	24名	小学生16名・先生2名参加
サニーサイド秋まつり	11月11日	810名	販売14団体・出演5団体
芋掘り体験	10月～11月	249名	3団体（保育所・幼稚園）
第39回泗水文化祭	10月26日～10月30日	-	施設作品展示
勤労感謝挨拶回り	11月21日	3名	9ヶ所
泗水西小学校学習発表会	11月10日	-	施設作品展示
グランドゴルフ交流会	12月10日	28名	平野グランドゴルフ愛好会14名

青年団餅つき	12月16日	44名	菊池市青年団14名
泗水町内1周駅伝大会	2月11日	4名	応援旗200本贈呈

・地域の清掃活動

昨年度に加えて、今年度は地域移行を目指す利用者の定期清掃活動を行いました。

行事名	回数	内容
地域ボランティア	22回	地域の菅原神社の清掃活動
彼岸の道づくり	2回	平野区公民館周りの草取り等

・生計困難者レスキュー事業

日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方に福祉サービスを提供する一環として実施しているレスキュー事業には1件の相談がありました。

実施日	内容
11月12日（面談） 12月11日（終結）	電気料金の滞納により送電が止まってしまい、夜間に電気が点かず子どもたちが不安を抱えているとの事でしたが、当日にサニーサイドの立て替え払いで電気料金を支払い、送電が再開されています。12月11日に相談者宅をサニーサイド相談員が訪問し、立て替え分の支払いを受け、終結となっています。
2月20日	生計困難者レスキュー事業 CSW 養成研修

・一人住まい高齢者訪問事業

月1回訪問し食事をお持ちするとともに、生活状況を確認し見守る事業を継続して行っています。民生委員から地域独居高齢者の増加も相談があり、下記の通り、訪問者の数の増加に繋がっています。

実施	訪問者数	その他
月1回定期実施 計12回実施	のべ102名	昨年度3月より新規4名追加により10名対象に実施。（のべ39名増）

・サニーサイド地域福祉相談室

平成29年8月に開設しています。地域福祉相談室は1人暮らしの高齢者や育児に悩む親らの様々な日常生活の困り事、また、貧困問題、引きこもり、育児、介護などの福祉全般に対するお困りごとに対して取り組んでいく、よろず相談の窓口です。

・支援学校体験実習生受け入れ

支援学校の依頼により、体験利用実習の受け入れを実施しています。

学校名	人数	期間	実習内容
菊池支援学校	2名	6月12日～23日（計10日間）	就労継続支援B型利用実習
	1名	9月14日～15日（計2日間）	生活介護利用実習
大津支援学校	1名	6月16日（計1日間）	生活介護利用実習
熊本支援学校	1名	11月29日～12月12日（計10日間）	就労継続支援B型利用実習

③グループホーム建設事業

平成29年度に予定をしていたグループホーム建設事業については、熊本地震の影響により建設業者の確保が難しく、平成30年度事業計画において建設事業を進めています。平成29年度には、30年度建設に向けた平面図、立面図、見積り等を進めました。

④アール・ブリュット活動の推進

前年度同様、絵画制作に取り組む時間を定期的に設けています。また、絵画見学として美術館見学や他の利用者が制作した作品を見る機会を提供することで、新たな絵画作品への意欲向上に繋げています。

実施した項目		実施内容
1	見学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県立美術館（5/12）</li> <li>・生の芸術アール・ブリュット展覧会 vol.3（10/3 熊本県立美術館）</li> <li>・熊本県知的障がい施設協会 50周年記念式典（12/3 ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）</li> </ul> 計3回実施
2	画家登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アール・ブリュット熊本に4名登録追加。計6名登録。</li> </ul>
3	作品出展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生の芸術アール・ブリュット展覧会 vol.3 作家5名（計19作品出展）</li> <li>・熊本県知的障がい施設協会 50周年記念式典（金賞2名受賞）</li> <li>・アートカレンダー参加 1名（3作品掲載）</li> <li>・「アール・ブリュット作品展～サニーサイドの画家たち～」開催11月11日（土）～11月17日（金）</li> </ul>

⑤新たなサービスに向けた計画の策定

平成30年度の事業計画では平成30年度～平成32年度の3カ年を1期とした事業計画を策定しました。中・長期計画として法人及び各事業において年度毎に数値目標を設定し、3カ年での目標達成を目指していきます。

### 3、人材について

#### ①人材育成のための継続的な研修実施

人材育成は施設支援の向上の重要な手段と考え、様々な専門的な研修を織り交ぜながら、積極的に行っています。

内 容		回 数	延べ研修 受講人数	
内部 研修	熱中症・感染症対策・権利擁護等	担当職員による実施	5回	106名
	人事考課研修	社会保険労務士法人 上田事務所 緒方様	2回	18名
	腰痛予防教室	熊本県理学療法士協会会長 北里堅二様	1回	7名
	救急法	日本赤十字社熊本県支部 坂本様	1回	9名
専門 研修	課題検討研修	熊本学園大学 今吉光弘准教授	11回	77名
機能 訓練 研修	介護・リハビリ研修	菊池広域リハビリテーション広域センター 深町様、小森田様	1回	11名
	介護・リハビリ研修	菊池広域リハビリテーション広域センター 清久様、岡本様	1回	11人
行動 障害 研修	強度行動障害研修	発達障害者支援センター わっふる	2回	21名
外部 研修	中堅職員研修・ 初任者研修等	熊本県社会福祉協議会等	148回	180名
計			172回	440名

#### ・権利擁護体制の向上

権利擁護に関する取り組みとして法人で定める「虐待防止対応規定」に沿って以下の活動を行っています。

実施月	実施項目	対象者	実施内容
5月	早期発見チェックリスト①	事業担当者	チェックリストを実施し、各事業・個人の課題を探る。
7月	早期発見チェックリスト②	事業担当者	

10月	早期発見チェックリスト③ 体制整備チェックリスト 職員セルフチェック	事業担当者 虐待防止委員 全職員	チェックされた項目については、内容の追及、各種会議にて対応策を決定し、全職員にフィードバックしている。
2月	早期発見チェックリスト④	事業担当者	
毎月	権利擁護週間	全職員	虐待防止の心得をミーティング時に復唱している。

#### 権利擁護に関する研修の実施

	研修名	実施日	対象者
外部	熊本県障害者虐待防止 ・権利擁護研修会	11月25日	生活支援員
内部	権利擁護研修	4月21日	職員、世話人
		7月21日	職員
		12月15日	給食委託業者
		12月19日	家族
		3月3日	第三者委員
		2月1日	※その他職員には随時実施

#### ・福祉分野の人材育成のための教育実習生の受け入れ

教育実習の受け入れには、近年社会福祉士の養成が主でしたが、歯科衛生士や介護福祉士といった専門職を目指す学生の受け入れも行っています。

学校名	人数	期間	実習内容
熊本学園大学社会福祉学部	2名	8月8日～9月14日（計23日間）	ソーシャルワーク実習
城北高校医療福祉科	2名	9月20日～9月26日（計5日間）	介護実習及び福祉実習
九州看護福祉大学口腔保健学科	2名	2月19日～2月23日（計5日間）	発達支援臨地実習

#### ②人材確保のための就職説明会の実施

平成29年度（平成30年度採用予定）は大学・短期大学より2名と一般から2名の計4名行いました。

実施内容	回数	対象
事業説明会等	3回	熊本学園大学（7/11、10/16 計2名参加）
施設見学会	2回	尚絅大学（7/12 計1名参加）
		九州保健福祉大学（12/11 計1名参加）

		一般（11/13、11/27、12/15 計3名参加）
就職フェア等への参加	3回	福祉の就職総合フェア 2017 11/7 福祉就職フェア 11/23 学生と福祉施設職員地域座談会 12/15
学生ボランティア受入れ	2回	レクレーション大会 計12名参加 サニーサイド秋まつり 計38名参加
福祉・介護人材確保、定着 支援セミナー	1回	10/20

### ③人材定着のための職場環境見直しの実施

前年度に引き続き公平で公正な人事考課システムの構築のため社会保険労務士法人上田事務所による人事システムの研修及び指導、メンタルヘルスクエアを実施しました。又、6月11日より業務管理システムを導入し、職員の業務把握、改善に繋げました。

内容	実施回数	対象者
人事システム／考課者及び被考課者訓練	全2回	一般職層 平成30年 2月16日 指導職層 平成29年 8月 7日
メンタルヘルスクエア研修	全1回	平成29年10月27日
業務管理システム導入	-	平成29年 6月11日

### 4、苦情解決第三者委員会・虐待防止委員会の開催

苦情等については第三者に公表し、客観的な視点の下で解決すべく意見等を頂いています。

開催日	報告内容	参加者	意見
2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サニーサイドの事業内容について</li> <li>・苦情相談報告</li> <li>・権利擁護の現状と防止の取り組みについて</li> <li>・地域における公益的な活動について</li> </ul>	<b>【苦情解決第三者委員】</b> 岩下和憲 村上節代 <b>【サニーサイド】</b> 理事長 衛藤博 サービス管理責任者 北里うた子、村上美保	地域福祉相談室の案内があり、地域に相談できる場所があることに安心しているとの事。また、第三者委員の研修会の案内について参加する意向がある。

## 5、利用者・家族との関係作りについて

より良い信頼関係構築に向け以下の取り組みを行っています。

実施内容	人数	期日	場所
サニーサイド・家族会親睦温泉旅行	家族 16 名・利用者 58 名	9月6日	司ロイヤルホテル
家族説明会	31 家族	3月3日	サニーサイドワークセンター
個別説明	31 家族	-	各事業所で実施

※家族不在の利用者については、成年後見人に説明を実施しています。

## 6、設備・整備の取り組みについて

	事業名	事業内容
1	サニーサイドガラス取替工事	利用者の生活環境の向上及びエネルギー節約、安全性向上の為にペアガラス設置を行う。(社会福祉充実計画)
2	サニーサイドホームページ作成	法人広報の拡大の為に、ホームページ刷新
3	サニーサイド日中活動事業所・倉庫棟追加工事	事業に関する追加工事費
4	サニーサイドアスファルト舗装工事	日中活動事業所の建設工事に伴い、景観整備の為に、アスファルトの舗装工事を実施。
5	サニーサイド法面保護工事	環境整備の安全性確保の為に、サニーサイド施設法面の保護工事を実施。
6	サニーサイド防犯カメラ増設工事	日中活動事業所、倉庫棟の建設に伴い防犯カメラ設置及び外部防犯カメラ等の増設。
7	サニーサイド固定電話設置工事(リース契約)	日中作業所建設、リース契約満了により再契約及び固定電話の全機交換を実施。

## 障がい者支援施設サニーサイド事業報告

障がい者支援施設サニーサイドでは利用者の重度・高齢化に伴い転倒や誤嚥を予防する為に、年齢や障害特性に応じて、介護・リハビリ研修でのプログラムを組み込んだ、支援の提供を行いました。また、施設入所からグループホームへの地域移行支援の取り組みや、より快適で安心した生活が送れるよう居住環境の整備等にも努めQOL（生活の質）の向上を目指しました。

### 1、障がい者支援施設サニーサイド利用者概要

施設入所支援では、今年度男性2名、女性2名が退所となりました。それに伴い、男性1名、女性3名入所となり、現在の入所者数は42名と前年度と変更はありません。生活介護では、男性1名が利用開始となり、現在の利用者数は47名となっています。

今年度は、障害支援区分判定から3年がたち、再判定の利用者が36名対象となり、市町村による障害支援区分認定調査面接を実施しています。その結果、施設入所では平均区分は5.7と前年度と変わりなく、生活介護は平均区分が5.6と前年度より0.1減少しており、退所された4人の方の区分が全て6であり、新規で利用された方は区分5の方が4名、3の方が1名であった為、減少しています。

対象者	人数	平均年齢	療育手帳			障害支援区分							
			A1	A2	B1	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均	
施設入所	男性	23	48.6	9	11	3	18	5	0	0	0	0	5.8
	女性	19	49.5	6	10	3	13	4	2	0	0	0	5.6
	合計	42	49.0	15	21	6	31	9	2	0	0	0	5.7
生活介護	男性	25	49.0	9	12	4	19	6	0	0	0	0	5.8
	女性	22	48.7	8	11	3	14	5	3	0	0	0	5.5
	合計	47	48.9	17	23	7	33	11	3	0	0	0	5.6

### <利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年比
施設入所支援	14717	365	40	101.0%	101.2%
生活介護	11889	269	40	110.5%	101.3%
短期入所	149	365	2	20.4%	402.7%

(平成30年3月31日現在)

## 2、施設入所支援・生活介護事業報告

### 【目標に対する取り組み】

支援プログラムの充実、地域移行支援の実施、活動メニューの見直し、健康管理、栄養管理について取り組みました。

#### ①体力維持・向上プログラムの実施

利用者の特性に応じたプログラムを作成し、熊本リハビリテーション病院や発達障害支援センターわっふるより専門職を招き研修も実施しました。活動メニューの見直しとして、運動メニューの評価をもとに新プログラムを作成し、実施する事で運動メニューの平均参加者数は31人(77%)程度を維持することが出来、活動のマンネリ化を防ぐことに繋がりました。

また、長野歯科による口腔ケアを月4回実施する事で、口腔清潔に努めました。本年度は誤嚥性肺炎による入院件数が昨年度6件に対して2件に減少しました。

今後は重度高齢化対策として専門性の充実と共に活動参加率の増加に努め、体力の維持、向上に繋がります。

実施した項目		実施内容
1	利用者に合わせて独自の体力向上プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>強度行動障害支援研修の実施（年2回）</li> <li>熊本県北部発達障がい者支援センター わっふる</li> <li>運動メニューの評価と新プログラムの実施</li> </ul>
2	身体機能維持の為にリハビリ運動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>足浴やタクティールセラピーによるむくみ予防の実施</li> <li>下肢筋力の維持向上の実施</li> <li>熊リハ研修の実施（年2回）</li> </ul>
3	口腔ケア、嚥下機能訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>長野歯科による口腔ケアの実施（月4回）</li> <li>支援員による曜日ごとに対象者の口腔ケアを実施</li> <li>嚥下訓練の実施</li> <li>誤嚥性肺炎の予防</li> </ul>

#### ②施設入所からグループホームへの地域移行

地域移行支援として、掃除や洗濯などの日常生活支援やグループホームへの長期の宿泊体験、ご家族への説明等を通して、地域移行に対する利用者の不安の軽減や、個人の課題などを知る機会となりました。今後は地域移行がスムーズに行えるよう課題の改善に努めていきます。

実施した項目		実施内容
1	生活スキル向上支援の実施	身だしなみ、掃除、洗濯干し、喫茶準備、作業訓練（フルーツネット作業）の実施（269回）

2	グループホーム体験利用によるアセスメント実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームでの宿泊体験利用（7泊8日：2回） 7/17～7/24、10/10～10/17</li> <li>グループホームでの食事体験（1回）1/31</li> </ul>
3	ご家族との移行説明会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月の帰省時、3月の家族説明会時に説明（6家族）</li> </ul>

### ③QOL（生活の質）の向上

毎月チェックリストを利用した居室整備を実施することで、居室内の清潔保持及び季節に応じた衣類や寝具の提供を行い、より快適な環境で過ごせるような支援を行っています。また、危険と思われる箇所や壊れている物については早期発見を行い、未然に防ぐことで利用者の怪我や転倒を防ぐよう努めました。今年度は骨折が4件と昨年より1件増え、今後も高齢化などが進むと予測される為、より一層の改善に努めていきます。

実施した項目		実施内容
1	より快適で整理が行き届いた居住環境の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月チェックリストを実施し、居室内の整理整頓を実施</li> <li>エアコンフィルターやベッド下など定期清掃の実施</li> <li>タオルケットやボアシート、枕などの購入</li> <li>ベッドメイキングの方法の統一</li> </ul>
2	安全で転倒リスクを軽減した生活動線の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下や居室内に危険物がないかチェックを実施</li> <li>壊れた物がないかチェックを実施し、壊れた物は修理や購入を実施</li> <li>ポータブルトイレや衝撃吸収マットの設置</li> </ul>

### ④健康管理と感染症の予防

歯科による口腔ケアが往診となったため、長野歯科の受診が226件から833件へ増加していますが、そのほかの通院はほぼ横ばい、入院に関しては、大きく減少しています。感染症においては、例年の感染症予防の徹底に合わせて職員へエアマスク、使い捨てマスクを配布し着用の徹底を実施した結果、インフルエンザや感染性胃腸炎を予防することが出来ました。

実施した項目		実施内容
1	利用者の健康状態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院・通院            入院者（のべ） 8名 前年度比 61.5%            入院日数 180日 前年度比 23.6%            通院者（のべ） 2464名 前年度比 121.2%</li> <li>定期健康診断の実施（年2回）</li> <li>歯科検診の実施（年1回）</li> </ul>

2	感染症予防の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ予防接種</li> <li>・感染症対策セットの用意</li> <li>・感染症対策研修の強化</li> <li>・職員へエアマスク、使い捨てマスク、手指消毒用アルコールの配布</li> </ul>
3	栄養ケアマネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養ケアマネジメント委員会 月1回実施 参加者 施設長、管理栄養士、サビ管、看護師、主任支援員 内容 特に個別対応の必要な方への支援内容について 食事摂取量、補食、体重変動、BMIの確認 食事内容・食器などの見直し</li> <li>・スクリーニング（年4回） BMI、体重変動、食事摂取量によるリスクの判定</li> <li>・モニタリング（年12回） 毎月、体重測定を行い、BMI・食事内容等を把握 やせ（3名）標準（36名）肥満（3名） 常食（20名）一口大（13名）刻み食（5名）ミキサー（3名）</li> <li>・栄養ケア計画の見直し、作成（年2回）</li> </ul>

### 3、短期入所・地域生活支援事業報告

平成29年度の短期入所利用件数は、前年度比402%と増加が見られていますが、地域生活支援は92%と減少が見られています。新規利用者の利用の増加や感染症時期の利用の減少があると考えられます。

#### <短期入所事業>

利用状況（人/月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
10	10	18	17	19	15	13	10	24	8	2	3	149	402%

#### <地域生活支援事業>

利用状況（人/月）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
6	4	5	4	8	12	8	4	1	4	3	7	66	92%

#### 4、苦情相談会の開催

毎月苦情相談会を実施しています。今年度は、全体的に件数が増加し、特に対人関係に関する事が前年度より増加しております。

相 談 内 容	苦情相談会		前年比
	総件数	解決件数	
対人関係・他利用者に対する不満に関する事	7	7	175%
要望（食事・外出等）に関する事	87	87	103%
その他（質問・自身の報告等）	0	0	0%
総 計	94 件	94 件	104%

# サニーサイドワークセンター事業報告

サニーサイドワークセンターでは働きたい方に働く場を提供する事を目的とし、ハーブや農作物の自家栽培作業及び箱折り等の委託作業を行い、売り上げ向上・工賃向上を目標に取り組みました。

今年度は絵画活動において、アール・ブリュット展覧会では5名の方が新たに作家登録され、知的障害者施設協会50周年式典では1名の方が金賞に選ばれました。また、新たな事業として、農福連携事業に参入し、農業法人への委託作業の実施、ハーブ製品の販売所として菊池市の飲食店での取り扱いも開始しております。

## 1、サニーサイドワークセンター利用者概要

今年度は、4月より男性1名の方が増え、計15名となっております。そのため、利用実績は前年度比106%となっております。

対象者	人数	平均年齢	療育手帳			障害支援区分							
			A1	A2	B1	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均	
就労継続支援B型	男性	8	45	2	3	3	1	5	2	0	0	0	4,8
	女性	7	51	0	3	4	1	6	0	0	0	0	5,1
	全体	15	48,2	2	6	7	2	11	2	0	0	0	5

### <利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年比
就労継続支援B型	3860	269	20	71,7%	106%

(平成30年3月31日)

## 2、就労継続支援B型事業

### 【目標に対する取り組み】

#### ①工賃向上

工賃向上を目指し、新規作業として以下の商品の開発及び販売を行いました。

実施した項目	実施内容
1 新製品の開発と販売	<b>【新製品】</b> ・利用者の絵画を使用したポストカード3種(各5枚)の販売開始 <b>【新規委託作業】</b> ・農福連携事業に参入し、農業法人2箇所と体験就労を実施後契約株式会社 燦燦ファーム(パクチーの出荷作業、野菜洗浄) 株式会社 LaTo(トマトの芽かき、草取り)

2	販売促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• facebook を活用し、販売会のお知らせやハーブ加工工程等を配信</li> <li>【新規販売先】</li> <li>• 菊池市の飲食店（Café zakka bb）にて販売開始 ランチ提供時の飲み物としてレモングラスティーを採用</li> <li>【販売会参加】</li> <li>• 社会就労センター主催による販売会に参加 7/14,15 ほっとはぁとマーケット 8/27 24時間TV販売会 10/1 ほっとはぁとマーケット 12/3,4 知的障がい者施設協会 50周年記念大会販売会</li> <li>• 地域イベントによる販売会に参加 9/30 鶴団地町民の集い 10/14 きくちどんぐりマルシェ</li> </ul> <p>販売会参加総売り上げ 80,120円</p>
---	------	--

【各部門の売り上げについて】

ハーブ部門については、レモングラスの栽培・収穫量を増やしたことで、販売箇所も増え売り上げにも繋がっています。生産量は増えてきましたが、需要があがり冬には完売状態になってしまった為、更に生産量を増やす必要が感じられました。その他部門でも売り上げが今年度は多く見られ、芋ほり体験の価格を上げた事、ポストカードを含む絵画製品が売れた事が要因となっています。その為売り上げ合計が2,836,550円と前年度より187,067円増加しています。これにより平均工賃は11,147円/月（前年度平均工賃10,899円）と前年度より2%アップとなっています。

	平成29年度売上	平成28年度売上	増減	前年比
ハーブ部門	353,918円	333,438円	20,480円	106%
委託作業部門	2,216,128円	2,171,105円	45,023円	102%
その他部門	266,504円	144,940円	121,564円	183%
合計	2,836,550円	2,649,483円	187,067円	107%

【内訳】

ハーブ部門…ハーブ製品の栽培・加工・販売

委託作業部門…インターナショナルケミカル（フルーツネット袋詰め）

不二コンクリート株式会社（花壇の管理、温泉施設の草取り）

有限会社 福田屋（お菓子の箱折り全8種、年賀のし貼り）

施設外就労…農福連携事業に参入、農業法人の依頼により委託先にて作業

株式会社 燦燦ファーム（パクチーの出荷作業、野菜の洗浄、草取り）

株式会社 LaTo（トマトの芽かき、草取り）

その他部門…梅干し等の加工販売、紅はるかの栽培と販売、芋ほり体験

じゃがいも栽培と販売、雑貨製品、利用者絵画製品の制作と販売

## ②新規利用者獲得

新規利用者獲得への取り組みとして、支援学校の生徒を対象にした体験見学会の実施、支援学校学生実習及び就労移行支援事業所・相談支援事業所からの依頼によるサービス変更や新規利用を踏まえた体験実習を受け入れています。今年度より、支援学校中等部の学生実習も始まり、早くからサービス利用を視野に入れた体験を希望される方が増加しています。また、事業所変更の希望による体験や精神科、在宅利用者の体験希望も増えてきており、精神障がい者の受け入れ体制を整備する必要性も感じられました。

### 【体験見学会の実施】

実施日	参加人数	実施内容
平成 29 年 10 月 30 日	1 組 (2 名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業説明、事業所案内</li> <li>・ フルーツネット束ね、ハーブの袋詰め、箱折り作業体験</li> </ul>

### 【体験利用・支援学校実習受け入れ】

実施日	参加人数	依頼先 (学校等)	実施内容
平成 29 年 6 月 12 日～23 日	2 名	菊池支援学校 高等部	各箱折り、フルーツネット束ね、ハーブ加工
平成 29 年 8 月 7 日～10 日	1 名	就労移行支援事業所サンライズ	
平成 29 年 8 月 22 日～24 日	1 名	相談支援事業所れんがの家	
平成 29 年 8 月 28 日	1 名	保護者	
平成 29 年 9 月 25 日～10 月 6 日	2 名	菊池支援学校 高等部	
平成 29 年 11 月 27 日～11 月 28 日	1 名	菊池支援学校 中等部	
平成 29 年 11 月 28 日～12 月 1 日	1 名	相談新事業所サニーサイド	
平成 29 年 11 月 29 日～12 月 12 日	1 名	熊本支援学校 高等部	

## ③生活に関する支援

作業に関する相談や人間関係に関する相談に加え、委託作業先でのマナーや挨拶についての指導を行っています。また、作業内容に応じて必要な準備や衛生に関する支援も行いました。

実施した項目	実施内容
1 マナー支援 生活相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業、人間関係に関する相談</li> <li>・ 委託作業先での挨拶・マナー支援</li> <li>・ 作業準備、衛生に関する支援</li> </ul>

# 共同生活援助事業サニーサイド事業報告

共同生活援助事業では、日常生活の援助を受けながら、生きがいや楽しみを持って生活することを目的としています。利用者が必要とするサービスを自分で選ぶ体制を作り、希望する趣味活動に参加するなど、利用者一人一人が楽しみを持って活動に取り組むことでその人らしい生活に繋げています。

## 1、共同生活援助事業利用者概要

今年度は障害支援区分認定調査を受け、3名の方が区分変更となりました。また、3月に「のばら」に支援学校卒業後、18歳の男性利用者1名が入居した為、男性の平均年齢が55歳から51.3歳に下がっています。

利用実績については、28年度1名利用者が退所されてから新規入居者がいなかった為、「のばら」の利用率が下がっています。また、2月より「わかば」利用者が1名入院された為、利用率がわずかですが下がっています。

対象者		人数	平均年齢	療育手帳				障害支援区分						
				A1	A2	B1	B2	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均
共同生活援助	男性	8	51.3	1	2	4	1	2	5	0	0	1	0	4.9
	女性	6	56.3	0	2	4	0	1	5	0	0	0	0	5.2
	全体	14	53.4	1	4	8	1	3	10	0	0	1	0	5

### <利用実績>

事業名	利用延べ人数	開所日数	利用定員	利用率	前年比
わかば	1048	365	3	95.7%	95.7%
のばら	1450	365	5	79.4%	88.5%
さくら	2165	365	6	98.8%	100%
全体	4663	365	14	91.2%	95.9%

(平成30年3月31日現在)

## 2、共同生活援助事業

### 【目標に対する取り組み】

#### ①サービスの多様化と選択肢の提供

高齢化に伴い、利用者の年齢の幅が広がり、利用者が受けたいサービスに変化が見られるようになったため、今年度は利用者が必要とするサービスを自分達で選ぶことができる体制作りに取り組みました。また、趣味活動サービスでは、様々な活動に参加したいとの希望を受け、情報提供を行

い、希望する活動すべてに参加できるよう体制を変更しております。

実施した項目		実施内容
1	余暇サービスの選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月4回 ツタヤ・コンビニ利用の実施</li> <li>・外食、外出支援の実施</li> <li>・美容室利用 DVD鑑賞実施</li> <li>・弁当購入</li> </ul>
2	趣味活動サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月を1期間とし・園芸、軽運動、手芸、クラフトの4つの活動を提供、計48回の活動実施（のべ181名）</li> <li>・3ヶ月に1つ作品の完成</li> </ul>

## ②健康維持

健康維持のため、趣味活動支援の一環として軽運動を取り入れ、その他休日にウォーキングする機会を提供しています。また、毎月体重測定を実施し、体重変動観察にて1名の利用者に体重増加がみられました。持病の悪化が懸念された為、食事摂取量を変更し、経過観察を行っています。

実施した項目		実施内容
1	健康調査・体重測定・食事量の変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1度の健康調査実施（体重・BMI・摂取カロリー）</li> <li>・月一度の体重測定の実施</li> <li>・体重増加利用者1名に対し食事量の変更を行う。</li> <li>・軽運動（ウォーキング・グランドゴルフ）の実施</li> </ul>

## ③生活能力の維持

食事、洗濯、掃除等を当番制にし、利用者一人一人に応じた日常生活スキル支援を行うことで、生活能力の維持に努めました。また、地域の一員として年に3回地域の清掃活動に参加し、マナー支援を行いながら、地域の方と一緒に清掃活動を行っています。

実施した項目		実施内容
1	マナー支援・日常生活スキルの維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、洗濯当番を設け、日常生活スキルの維持の為、食器拭きや、洗濯仕分け等を実施。</li> <li>・年に3回平野区の地域清掃に参加</li> </ul>

## 3、苦情相談会の開催

毎月1回苦情相談会を行いました。要望の多くが食事や間食に関する事であり、その都度グループホームにて提供をしています。対人関係の相談は女性からの意見が多く、その都度個別に話を行うことで解決しています。

相談内容及び相談件数

相 談 内 容	苦情相談会		前年比
	総件数	解決件数	
対人関係・他利用者に対する不満に関すること	5	5	41.6%
要望（食事・外出等）に関すること	30	30	166%
その他（質問・自身の報告等）	11	11	57.8%
総 計	46 件	46 件	93.8%

# 相談支援事業所サニーサイド事業報告

今年度は、特定相談、児童ともに新規の相談支援の実施をしており、発達障害に関する相談が継続して増えています。児童の内、19名はADHDや自閉症スペクトラム等発達障害の診断を受けており、その他の方も診断はないですが、発達障害の傾向が見られます。

## 1、利用者概要

### <契約利用者数>

特定（障がい者）83名      児童 28名      計 111名（前年度より 2名減）

### <実績件数>

特定相談では、今年度は更新また新規利用のための計画作成が多く昨年の2倍となっています。障害児相談は新規の依頼が8件あり、相談件数、計画作成も毎年増加しています。

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比
特定	相談（延べ）	42	15	18	12	20	36	34	22	27	21	30	36	313	92%
	計画	1	3	4	1	1	6	8	13	3	2	1	22	65	210%
	モニタリング	11	7	5	2	3	13	3	6	7	5	4	6	72	70%
障害児	相談（延べ）	16	4	19	15	19	18	13	8	35	18	13	21	199	123%
	計画	1	0	1	2	3	3	1	1	8	5	2	4	31	111%
	モニタリング	3	4	8	5	3	7	3	3	5	5	7	5	58	97%

（平成30年3月31日現在）

## 2、相談支援内容

児童の相談の増加に伴い、家庭や学校等生活に関する相談にも対応しています。療育機関との調整など、関係機関との情報共有が昨年度の約2倍になっています。

### <相談方法>

	訪問	来所相談	同行	電話相談	担当者会議	関係機関
特定	121	41	8	43	47	53
障害児	49	53	4	20	25	48

### <相談内容>

	スの利用等 福祉サービ スに関する支 援	家計・経済に 関する支 援	健康・医療	情緒安定 不安の解消・	保育・教育	間関係 家族関係・人	就労	その他
特定	291	0	7	3	0	2	8	2
障害児	196	0	1	0	0	1	0	1